

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号455

発生場所

検査室・処置室

精神・意識障害の有無

リスク

発生場所（その他）

なし

C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク

関連したもの

椅子

発生内容の分類

転倒

発生内容

外来レントゲンでの転倒事例。

概要

レントゲン撮影室で患者がパイプ椅子につかまろうとして、椅子がバランスを崩し、滑ったため転倒に至った。患者は立位と臥位での撮影、また、上肢と下肢の撮影があった。一旦、台の移動をする際、待機用の椅子につかまり、転倒に至った。

要因

当院は新病院に移転後、環境面の改善に取り組んだが、備品（椅子など）は使用可能のものは継続使用しており、特に外来方面コメディカル部門の椅子に関して、入れ替えの検討をしなかった。そのため、旧タイプのパイプ椅子が配置されており、高齢患者が移動する際つかまることでバランスを崩す、滑るなど危険リスクがあると考えられる。特に検査やレントゲンは、患者が一人で移動することもあり、より安全な環境整備が必要。

対策

院内パイプ椅子使用状況を調査、現状の課題をそれぞれの部署から抽出。パイプ椅子から安定した椅子への変更を検討した。

参照